

エコグリーン
とちぎへ
ようこそ!クリーンテック
とちぎ通信

株式会社 クリーンテックとちぎ 発行責任者/安藤由紀男 栃木県那須郡那珂川町和見 1918 番 TEL.0287-82-7000

明けまして
おめでとうございます

代表取締役 安藤 由紀男



おかげさまで、当社は開業から3年目の新年を迎えることができました。地域の皆様の温かいご理解とご協力がなければ、今日までの順調な操業は成し得ませんでした。改めまして心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、北沢地区に残されていた不法投棄物のすべての搬出作業が完了し、大きな節目の年となりました。かつての自然豊かな姿が着実に回復しつつあり、近隣にお住まいの皆様にも明るい変化として感じていただけていることと思います。事業の重要な目的が無事に果たされた今、私どもは地域の将来を見据え、これから何を提供できるのか、また何を提供すべきなのかを、あらためて深く考えていく必要があります。

「日本人は水と空気はただだと思っている」。

1970年代に出版された『日本人とユダヤ人』の一節は、当時広く知られた言葉でした。私も中学の教科書で初めてこの文章を読みました。しかし現代の日本で、水や空気がただだと感じている人はほとんどいません。そして空気も、きれいな環境を得るため多くの費用を払っていることを誰しも実感しています。今や国内の空気清浄機出荷台数は、かつて「三種の神器」と称された家電に匹敵するほどです。

一方で、本当に大切な資源の価値は、必ずしも価格に反映されていないのかもしれない。都市生活の利便性には高い価格が付き、鉱物資源や輸入食料もますます高騰しています。しかし、水や空気を根源的に生み出している自然環境には、まだ十分な価値が反映されていないと感じます。

水や空気は「既にあるもの」ではなく、「生み出されるもの」。この仕事を通じて多くの方々からいただいたこの言葉は、私にとって非常に新鮮で、今も大切にしている考えです。

里山のように、人の手が入りつつも調和を保つ自然環境こそ「最も守るべき資源」であり、先人たちが長い年月をかけて育んできた貴重な財産です。不法投棄物の撤去工事も、この資源を守り次世代につないでいくための取り組みであるという思いで進めてまいりました。

お正月という節目に、先人への感謝を胸に、今を共に生きる皆様と晴れやかに新年を迎えられますことを心より嬉しく思います。本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。自然豊かな地域のさらなる発展と、皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

仲間たちの協力により無事故・無災害で新年を迎えることができました。引き続き社内教育や訓練を積み重ね、安全で安心な処分場運営に努めて参ります。

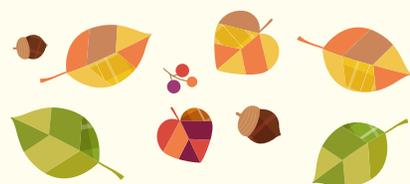
さて、私が処分場責任者に就任した同時期に弊社のホームページがリニューアルされ、私どもが見て、触れて、学んだ那珂川町の様子をwebマガジンで積極的に発信しております。少しでも多くの方々に町の魅力を知ってもらい、実際に足を運んでいただけたらと思っております。

処分場責任者
宮田 昭宏

今年で4回目の年男となり、誠に心の引き締まる思いでいます。これまでを大過なく迎える事ができましたことは、支えてくれた家族のお陰ですし、いつも家族を守ってくれている妻にも心から感謝しております。午年生まれは、強運の持ち主ということで、今年は良い事が沢山ありますように、「働いて！働いて！働いて！働いて！～働いて参ります。」

次の年男を迎えるまで、元気で良い歳の取り方をしていきたいと思っております。皆様これからもよろしく願いいたします。

施設保全部 埋立担当
中山 健二あけまして
おめでとう
ございます本年もどうぞよろしく
お願いいたします
2026



那珂川町とともに



2025年9月28日

稲刈り

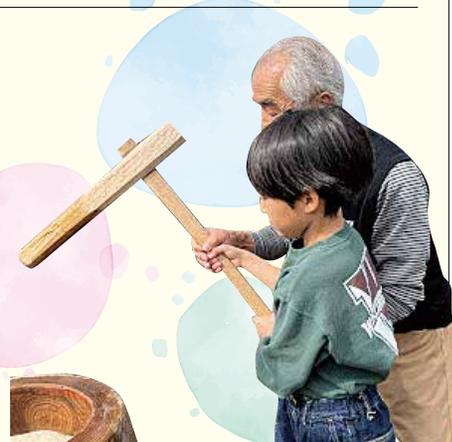
春の田植えから約4カ月後の9月28日、苗が黄金色の稲穂に育ちよいよ稲刈りです。この日の那珂川町小砂地区は気温は暖かくまさに稲刈り日和。鎌を入れるたびに広がる香りと手応えに感動しながら、一束ごとに藁で縛って、天日干しをするための「はって」にかけていきます。手刈りの大変さを知ると同時に農家の皆さんが心をこめて育てていらっしゃるその気持ちに触れることができる充実した時間を過ごすことができました。翌日は全身筋肉痛に襲われましたが…(笑)

運動不足の身体に太陽をいっぱい浴びながら動かした結果のこの痛みですが、体験で得た感情と相まって何となく心地よい感じに思われました。

そして約1か月後の11月2日には待ちに待った収穫感謝祭でした。天日干した稲は脱穀作業され、新米として受け取ることができました!まさに万感。当日のメインイベントの餅つきでは「よいしょー! よいしょー! よいしょー!」と元気な掛け声が響き渡ります。

改めて米作りの大変さや難しさを感じ、たくさんの方々に感謝しながら、つきたてのお餅と那珂川町の野菜で作った汁物を一緒にいただきました。

小砂里山農業体験を通じて、自然とのつながり、那珂川町の方々とのつ



ながりなど多くのことを感じ、学ぶことができました。来年もまた参加しようと思います!

小砂里山農業体験を続ける中で、今回「小砂 villageより委嘱状をいただく」という光栄な出来事がありました。地域の取り組みに関わるなかで、このような形で役割を託していただいたことに驚きと喜びを感じています。

那珂川町の秋を存分に満喫した3ヶ月でした!



栃木県による 運営状況の確認



栃木県と締結している事業契約書に基づき、弊社が実施する運営・維持管理業務について、その達成状況や運営・維持管理マニュアルの履行状況、環境保全協定の順守状況などを定期的に栃木県に確認・評価していただいております。

普段から運営・維持管理マニュアルに基づき管理業

務の実施に努めておりますが、運営手法などを向上させる重要な機会です。

栃木県による令和7年度上半期の定期モニタリングが去る11月14日に行われ、改善の余地があることが分かりました。今後も誠実で適正な運営・維持管理業務を心がけていく所存です。

2025年10月19日

蕎麦打ち

御前岩物産センター様にて初めての蕎麦打ち体験をしてきました! 講師の方がとてもユニークで、コツを冗談など交えながら楽しく教えてくださいだったので、私たちも終始笑顔が絶えません。

体験が始まると、夢中になって蕎麦粉をこねていました。最初の難関? そば生地を「丸」から「四角」へ伸ばします。体験の中で特に難しかったのが、この作業。初めて使うのし棒を手に球状のそば生地を「四角形」に伸ばしていきます。どうすれば円が四角になるのかと思いつつ、講師の方の教えのとおりそば生地を90度ずつ回転させながら伸ばします。不思議なことに不格好ではありますが少しずつ四角形に変化するではありませんか。

最後は講師の方に助けていただきなんとか形になりました。

いよいよ最後の切り作業。淡々と切る人、慎重に切る人、太い麺、細い麺…見事に個性が表れていました。

そして、お待ちかねの打ちたて、茹でたての絶品「蕎麦」との対峙。お箸を持ち、いざ尋常に。食べた瞬間、「凄いコシだ。」と感じましたが、「いや、単に麺が太いだけか。」とあれこれ思いながら、どんどんそばを口に

運びます。食べ終わった後の結論は、自分たちで苦労して打ったお蕎麦は格別!

みんなでワイワイ言いながら過ごした時間は、最高でした! 皆さんもぜひ、御前岩物産センターで美味しい蕎麦打ち体験、いかがでしょうか? おすすめです!



周辺 環境調査

「県営処分場「エコグリーンとちぎ」に係る環境保全協定」に基づき、環境調査を行っています。主に地下水質と空間放射線量率のモニタリングを定期的に行っています。現在、周辺環境の変化は確認されていません。また、詳細については、弊社ホームページに環境保全協定に係る測定結果を掲載しています。右のQRコードからアクセス可能です。



▲11月に実施した計量証明機関による採水



許可品目 許可品目はこちらからご覧ください。



お問い合わせ 相談窓口

株式会社 クリーンテックとちぎ
栃木県那須郡那珂川町和見 1918 番
TEL.0287-82-7000 Fax.0287-82-7081
URL:https://www.clean.ne.jp/tochigi/